

DX時代の 2022年度

次世代 介護ミドルマネージャー

育成プログラム

実施報告書 2023.3月

介護分野で
ビジネス視点を持った
人材を目指す



介護マネジメントの
知識・技能と、これからの時代に
おけるIT・DX領域を多角的に学びます



小樽商科大学
OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE

育成プログラムの趣旨



高齢者数がピークを迎える2040年には、69万人の介護人材が不足するとの推計のもと、「離職防止・定着促進・生産性向上」をスローガンに人材確保対策が推進されています。

しかしながら、介護職員の早期離職をはじめ、介護施設・事業所の組織構造、管理職や経営者のマネジメント能力を問われる諸問題は、依然、大きな課題として残されたままです。さらにWithコロナ時代で厳しい経営を迫られる介護施設・事業所には、地域の高齢者を支える持続可能な施設・事業所運営が求められています。

アントレプレナーシップ専攻

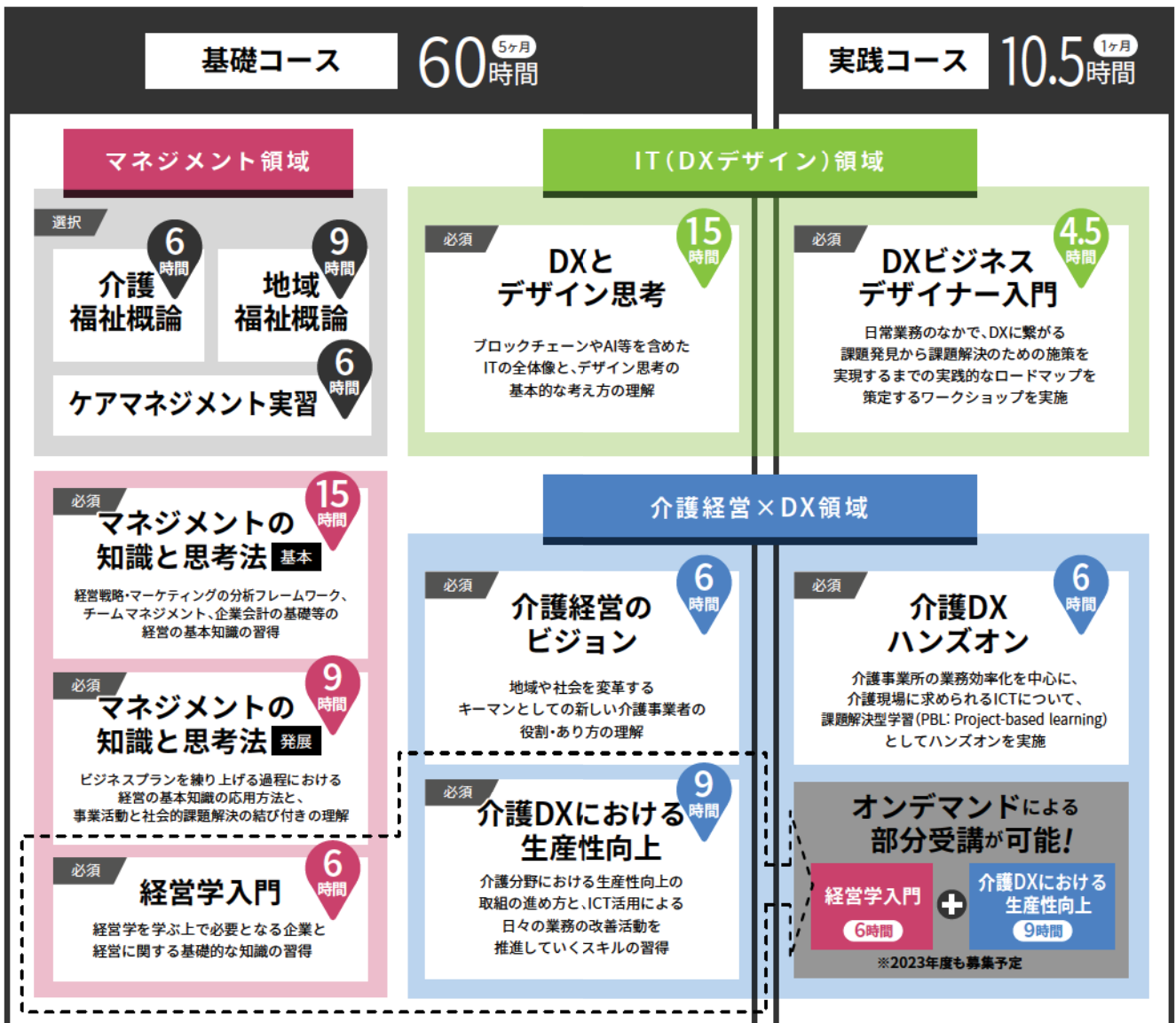
准教授 藤原 健祐 Kensuke Fujiwara

こうした介護を取り巻く厳しい環境下において、マネジメント能力を発揮し、介護施設・事業所にとどまらず介護業界そのものを牽引する人材を育成するべく、2021年4月、「介護ミドルマネジャー育成プログラム」は開講しました。22年度は、介護マネジメントの知識や経営学に加え、これからの時代に不可欠なDX・ITリテラシーの習得を重点的に学ぶ内容となりました。

当プログラムでの学びが、次世代を担うミドルマネジャー創出の一翼となれるよう願っています。

2022年度カリキュラム紹介

本プログラムは、高いマネジメント能力を身に付けたいうえで、「ITリテラシー・DXの基礎知識」、ならびに「ビジネスプランニング手法」「デザイン思考」を学び、新たなアイデアや構想を創出することのできる人材育成を目指した教育プログラムです。





獲得した学びを糧に新たな事業を展開したい



社会医療法人柏葉会
法人本部 福祉事業部
木下 博之さん

受講理由

仕事で事業の発展を担う立場となり、スキルアップの必要性を感じていた頃に「DX時代の次世代介護」の文言が書かれた案内を見かけ、受講を決めました。

学んだこと

経営については、事業計画の立案手法や戦略・マーケティング、会計学など、すでに学んだことのある内容も含め、理解を深めることができました。DXやデジタル知識の内容においても、VRの授業のような非常に刺激的で興味深い内容ばかりでした。また、藤原先生をはじめ事務局の方々、一緒に学んだ受講生の皆さんが、意欲的で優しい方ばかりだったこともあり、リアルタイムのオンライン授業はいつも楽しみながら受講することが出来ました。

変化したこと

自分自身変わったと感じているのは、何か

一つ業務改善に取り組むとしても、講義で学んだ知識や思考法を活かしながら考えられるようになった点です。インプットの重要性についても改めて痛感し、医療・介護の業界に限らず、さまざまな情報収集や経験をしていきたいと、より強く思うようになりました。

まだ具体的に実務に活かされていることはありませんが、VRの可能性や活用については法人内で共有し、今後、取り組むべき事項について検討していきたいと考えています。

学びをどういかしていくか

現在、本講義の最終考査に取り組むなか、新たな事業展開の種がいくつかひらめきました。この種を発芽させ、成長させていく事が出来るよう、獲得した多くの学びを水や肥料にし、土壌を育てていきたいと思えます。

この度のプログラムに関わった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

業務の目的と手段を見直しDXを取り入れた課題解決を



社会福祉法人
恩賜財団済生会支部
北海道済生会

小樽老人保健施設はまなす
リハビリテーション課
主任

白井 美奈子さん

受講理由

1つは、介護老人保健施設という介護保険サービスの領域で働くなか、対象者のニーズに対する人材不足を課題に感じており、解決の糸口を探していたことです。もう1つは、介護という自身の専門分野以外に、ITやDX、マネジメント、経営学といった勉強も必要であると感じたためです。

学んだこと

経営学入門では、あらためて所属する自事業所の理念や現状を省みる機会になりましたし、VR体験では開発技術の進歩に可能性を感じました。介護DXの授業では、現場の課題に対してデジタル化やDXの視点を取り入れつつ、グループワークで各々の課題を共有し、対話しながら理解を深めることができました。また、デザイン思考の講義では、私自身が右脳中心に思考するタイプであるため、あらためて頭の中の理想的なイメージと現実との

ギャップによって生じていたモヤモヤ感と向き合い、整理する必要があると感じました。

変化したこと

厚生労働省の資料を閲覧するようになったり、自事業者の慣習的な業務を俯瞰して捉え、目的と手段を確認するクセが付きました。一般企業の経営にも興味が湧き、コンセプトやマーケティングについて意識するようになったのは大きな変化です。そうした流れで、現在、実務において書類管理や記録業務に要する効率化を図る方法を検討しているところです。

学びをどういかしていくか

個人として深めていきたいのは、デザイン思考の学びです。組織としては、現場の課題解決にいかにDXを組み込んでいけるか挑戦したいです。

本講義に参加し、専門外の有益な知識や情報を学ぶことができ、とても感謝しています。今後も多くの方に受講していただきたいです。

こんな方達が参加しました！

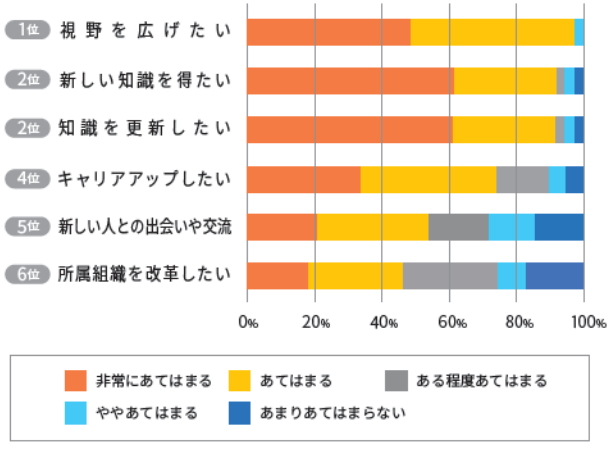
2022年度 受講生アンケート結果

※プログラム開始前の事前アンケートに協力いただいた39名のデータを元に集計しています

事前アンケート

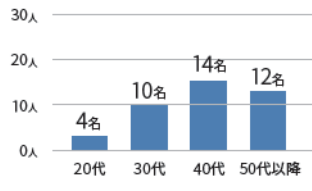
受講の目的

「非常にあてはまる」「あてはまる」の回答が多かった項目

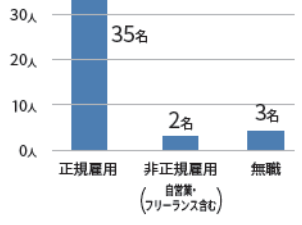


受講生プロフィール

受講者の年代



受講者の就業状況



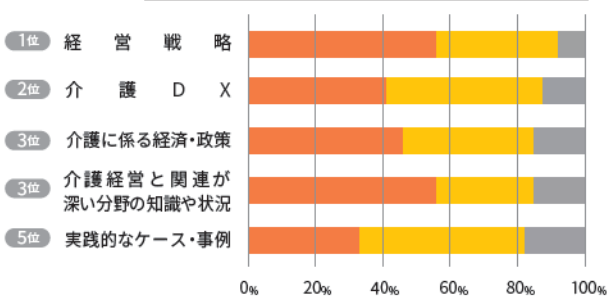
現在働いている地域

- 札幌市内……………25名
- 札幌市外の人口10万人以上の都市……………6名
- 上記以外の北海道内の市町村……………3名
- 北海道外……………5名

事前アンケート

興味・関心があるプログラム

「とても興味がある」「興味がある」の回答が多かった項目



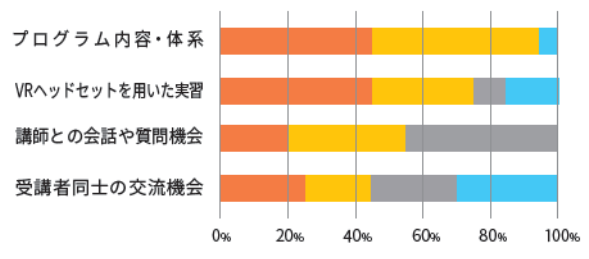
次点には「経営オペレーション」や「デザイン思考」「マーケティング」などが同率で並びました。



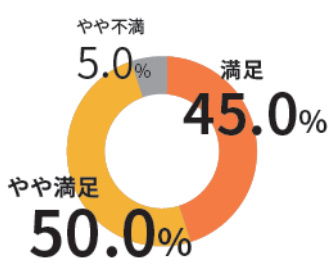
受講後アンケート

※2023年2月20日までに回答いただいた20名のデータを元に集計しています

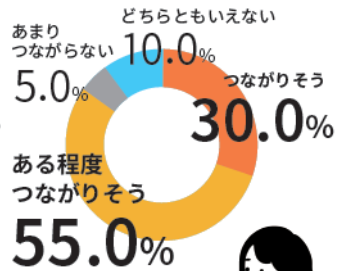
各項目の満足度



全体の満足度



キャリアアップにつながるか



事前アンケート

現在の仕事の満足度

満足トップ3

- 1位 労働時間
- 2位 仕事内容・上司との関係
- 3位 シフトやチームなどの働き方・職場の人間関係

不満ワースト3

- 1位 仕事の負荷
- 2位 シフトやチームなどの働き方
- 3位 労働時間・仕事内容・給与や昇給

2023年度 募集情報

2023年度も 2022年度と内容は変更となります。
介護ミドルマネジャー育成プログラム開講予定!

詳しくはこちらをご覧ください!
 小樽商大 介護経営
 re-current@office.otaru-uc.ac.jp

